

「心に残る文化財子ども塾」指導案

日 時：令和2年9月1日（火）

2～4校時（9:30～12:30）

場 所：赤屋小学校

対 象：安来立赤屋小学校5・6年生児童16名

指導者：1名（赤屋小学校）

1名（埋文センター）

1 主題 古代人の生活に触れてみよう

2 ねらい

- ・ 赤屋小学校周辺の遺跡や遺物を知ることにより、地域の文化財への興味・関心を高める。
- ・ 土器作りをとおして、古代人の技術や知恵や工夫に気づく。

3 展開

時間	学習活動	指導者の支援	準備物
9:30	1. 講師紹介、今日の流れを知る。 2. 小学校の周辺の遺跡について知る。 3. 遺跡や土器の特徴や役割から、当時の生活の様子について説明を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埋蔵文化財調査センターの職員を紹介する。 ・ 見通しを持って学習できるように本時の学習内容を知らせる。 ・ 小学校周辺の遺跡について知らせるために、遺跡地図やその場所の写真を提示する。 ・ 始めに、縄文・弥生・古墳時代の土器について大まかに説明し、使い方や用途を考えさせることによって、関心を高めるとともに、既習事項の定着を図る。 	遺跡分布図 写真等 遺物（土器など）
9:55	(休憩)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩中に自由に遺物を見学したり触ったりする。 	
10:00	4. 土器作りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作り方の説明を聞く。 ・ 形を作る。 ・ 文様を付ける。 ・ 片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土器の作り方を、指導者が実演しながら説明する。 ・ 粘土の巻き上げ方、施文のつけ方は特に丁寧に説明する。 ・ 水で調整させると崩れやすくなるので極力使わない。 ・ 製作中は巡視し、個別に助言する。 ・ 未完成作品や粘土の余りを入れるためのビニール袋を用意する。 	粘土、粘土板、 施文具セット ビニール袋
12:20	5. 学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感想発表。 ・ 終りの挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感想用紙を準備する。 ・ 完成作品や未完成作品の事後の管理等について説明する。 	感想用紙

4 準備物

(小学校) 粘土板、遺物を置く長机等、パソコン（パワーポイント）、プロジェクター、スクリーン

(児童) 筆記用具、タオル、汚れてもよい服

(埋文センター) 出土遺物、遺跡関係資料、粘土、施文具、土器作り資料、カメラ